

令和３年度 第２回 泉大津市総合交通戦略策定協議会 議事録【書面開催】

令和３年度第１回泉大津市総合交通戦略策定協議会も、コロナ感染症の拡大を踏まえて書面開催となりました。

【１ 策定の趣旨と策定フローについて】

質疑は特になし

【２ 泉大津市総合交通戦略素案（案）について】

本協議会（書面開催）において、委員からの主な意見は以下の通りでした。

○ 北助松駅周辺の交通対策・にぎわい空間整備の検討について

北助松駅周辺の問題解決の第一は朝、夕の通勤者及び学生の交通事故のないようにすること。にぎわいの問題にすりかえるのではなく、現状を直視する明確なビジョンをもってアクションプランの作成・実行に移す必要がある。

（解決策）

- １．学生保護については、学生専用道路を設けること。
- ２．商店街での歩道については、歩道を０．７５ｍ広げ、車道（自転車道含む）幅員を現在の７ｍから５．５ｍにする。車のスピードは２０ｋｍとし、自転車と共用する道路にする。

指摘を踏まえ、「道路空間の対応方策（案）」に下記を追加しました。

■助松千原線の歩道拡幅

- ・車道は相互通行のまま、歩道幅員の拡幅
- ・車道幅員の縮小と速度制限（現状３０Ｋｍ/ｈ）の引き下げ
- ・自転車走行空間の整備

○ 新たなテクノロジーの採用の視点に

新たなテクノロジーの採用の視点についての考え方などを記述しておくべき。

指摘を踏まえ、「８．２進捗管理」に、「最新技術の導入の観点も取り入れながら」の文言を追加しました。

○ 南海線高架下の側道について

南海線高架下の側道については、交通量が発生していない状況にある。今後はウォーカブルの視点も踏まえての施策展開が必要になる。

指摘を踏まえ、鉄道駅周辺における歩道空間の整備の背景・ねらいに「ウォーカブルの視点」の文言を追加しました。

【３ パブリックコメントの実施について】

「泉大津市総合交通戦略（案）」に対して、広く泉大津市民みなさまのご意見をあつめるために、９月上旬からパブリックコメントを行います。